

## ごあいさつ

皆さま方には、日頃より広島県信用組合に対しまして、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

このたび、当組合の平成23年度上半期経営情報につきまして、ミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当組合は、法令等遵守やリスク管理態勢の強化を図るとともに、「中期経営計画」に基づき、お客さまのニーズにお応えする商品・金融サービスの迅速な提供と、経営の健全性強化に努めてまいりました。

また、今年4月に両備信用組合との間で取交わした「基本協定書」に基づき、平成24年2月を目処に合併す

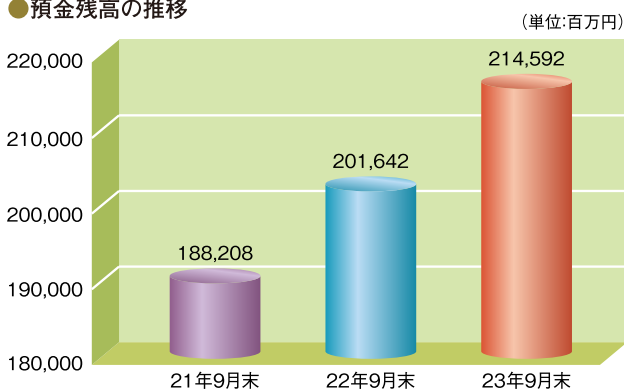
ることとして諸準備を進めてまいりましたが、協議を続ける中で、人事諸制度および事務処理システム関係の調整に想定以上の時間を要することとなり、合併効果をあげるためには、なお相当の時間をかけ、十分な準備が必要との認識で一致したため、合併期日を延期し、平成25年2月を目処とすることにいたしました。

今後とも、地域金融機関としてより充実した金融サービスに努め、地域の皆さまの期待に応じてまいるので、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 吉田 貞之

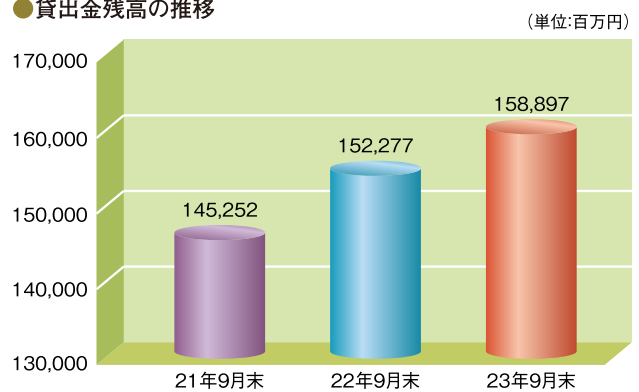
## 預金・貸出金の状況

●預金残高の推移



組合員(個人)の皆様限定「メンバーズ定期預金」等、お客さまにご満足いただける預金商品の提供に努め、平成23年9月末の預金残高は、前年同期比129億50百万円増加し、2,145億92百万円となりました。

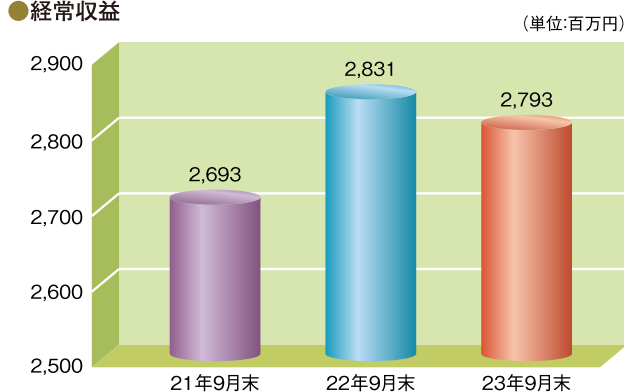
●貸出金残高の推移



また、貸出金につきましては、事業性のご融資や住宅ローンなどの個人向けの各種ローンなど積極的に対応し、平成23年9月末の貸出金残高は、前年同期比66億20百万円増加し、1,588億97百万円となりました。

## 収益の状況

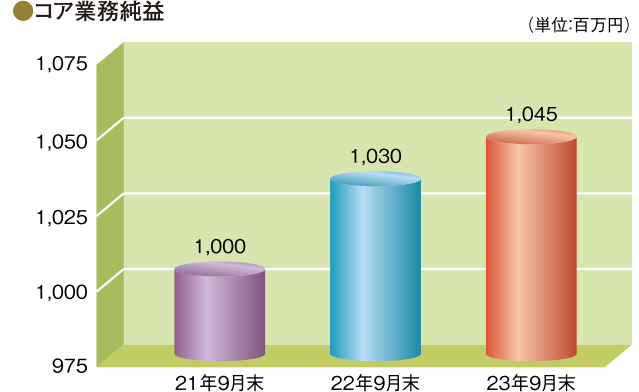
●経常収益



一層の収益性の強化に取り組んだ結果、平成23年度上半期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の売上をあらかず経常収益は、国債等債券売却益の減少等により、前年同期比38百万円減少し、27億93百万円となりました。

一方、コア業務純益(注)は、前年同期比14百万円増加し、10億45百万円(業務純益は10億20百万円)となりました。

●コア業務純益



なお、経常利益は、前年同期比1億33百万円増加し、7億16百万円となりました。また、当期純利益は、前年同期比1億23百万円増加し、6億63百万円となりました。

(注)コア業務純益とは、預金・貸出金・為替業務など金融機関本来の業務から生まれる業務純益から、一般貸倒引当金繰入額と国債等債券の償還・売却損益を控除したもので、より純粋な金融機関本来の業務による利益をあらわしております。